

“kintone特化型”データ連携サービス



データシンカー[®] for kintone



企業のDXを加速する

DataSyncer[®] for kintone



企業データ資産との連携を、 もっと手軽に簡単に。

DataSyncer for kintone（データシンカー）は、kintone に特化した業務データ連携サービスです。
企業内のさまざまなデータソースを、手軽かつ低コストで kintone と連携できます。

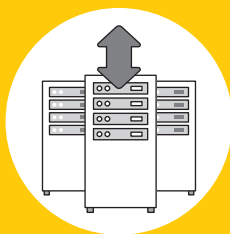


DataSyncer
for kintone

kintone × データ連携の活用シーン

- 基幹システムや他部署とのデータ連携を効率化
- 外部からの申し込み・問い合わせを即時に記録
- kintone上のデータを他システムで活用

企業内データ資産の活用



基幹・業務システム連携

基幹・業務システムから出力されるCSVやPDFファイルをkintoneに自動連携。☑業務パッケージ、ERP、生産システムなど様々な業務システムと連携し、データの閲覧や集計など企業内データの活用を推進します。

既存のフォームのまま連携



今あるフォームとそのまま連携

既存のWebフォームとkintoneを連携。今あるフォームのURLやデザインをそのまま利用できるので、既存のフォーム資産のまま、自社の基準に沿ったEOF（エントリーフォーム最適化）でkintoneとの連携が可能です。

様々なPDFを自動登録



複合機・FAXと連携

複合機のFAXやスキャンデータをkintoneに自動登録。外出先からの閲覧やチームでの共有を可能にします。
PDF内部のデータを抽出して、kintoneのフィールドに登録するといった高度な処理も、簡単な設定で実現できます。



データシンカー®の特長

- kintone特化型サービスならではのシンプルな構成
- 設定やログ管理をすべてkintone上で完結できる操作性
- 月額1万円から、業務に合わせてスモールスタート

すべての機能をトライアルで
お試しください

詳しい情報は[こちら](#) ▶



複数ドメインをシームレス連携



異なるドメインの kintone間を連携

グループ会社間など、異なるkintone間でデータ連携が可能です。
マスター情報や売上データをkintone間でダイレクトに連携。いつでも最新情報を共有できます。

メールからのコピペが不要



商談・サポートメールを kintoneで活用

メールから手作業で抽出していたデータをkintoneに自動で登録します。メールからアプリへのコピペはもう不要です。
商談メールやサポートメールを、kintoneに連携、活用することでビジネスチャンスを見逃しません。

kintoneデータの二次活用

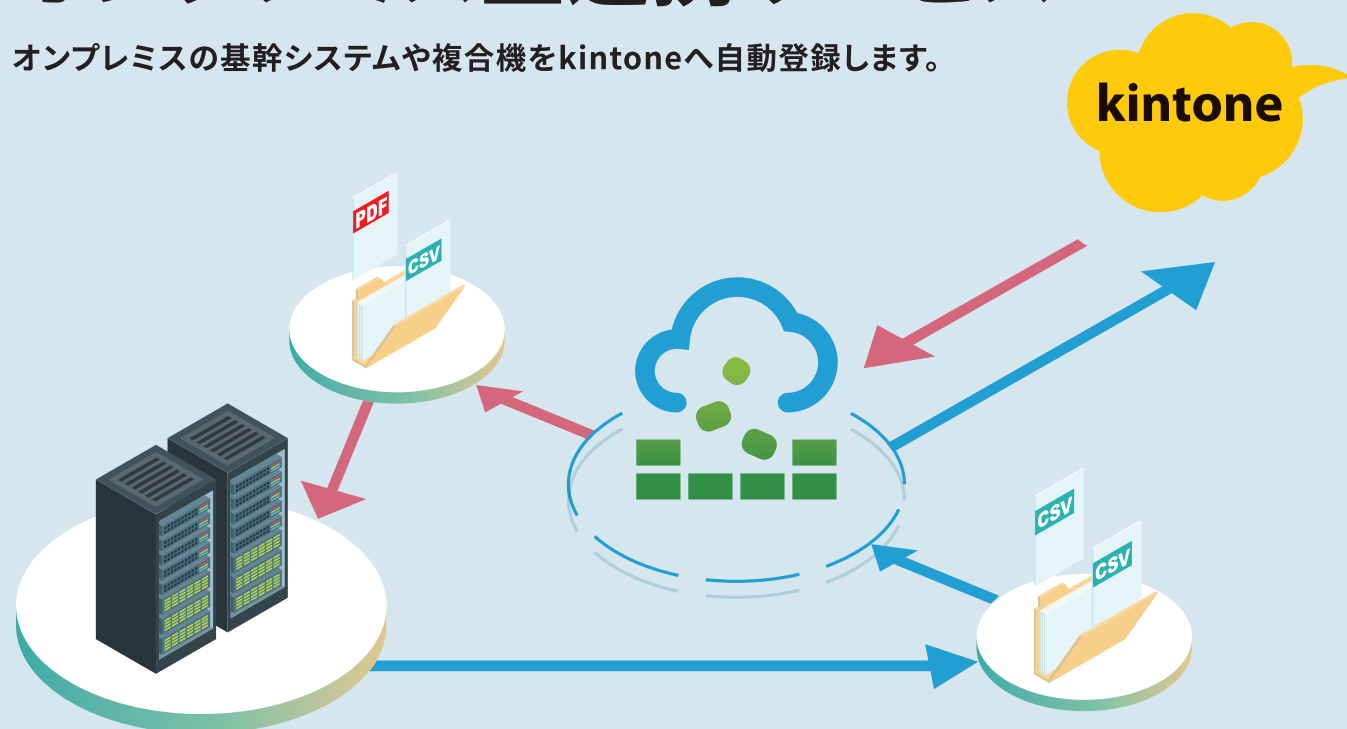


kintoneデータを 外部システムへ連携

kintone上のレコード情報や添付ファイルをWindows上に一括ダウンロードすることで、様々なシステムに対する連携が可能。
また、万一の際に備えたデータバックアップも可能です。

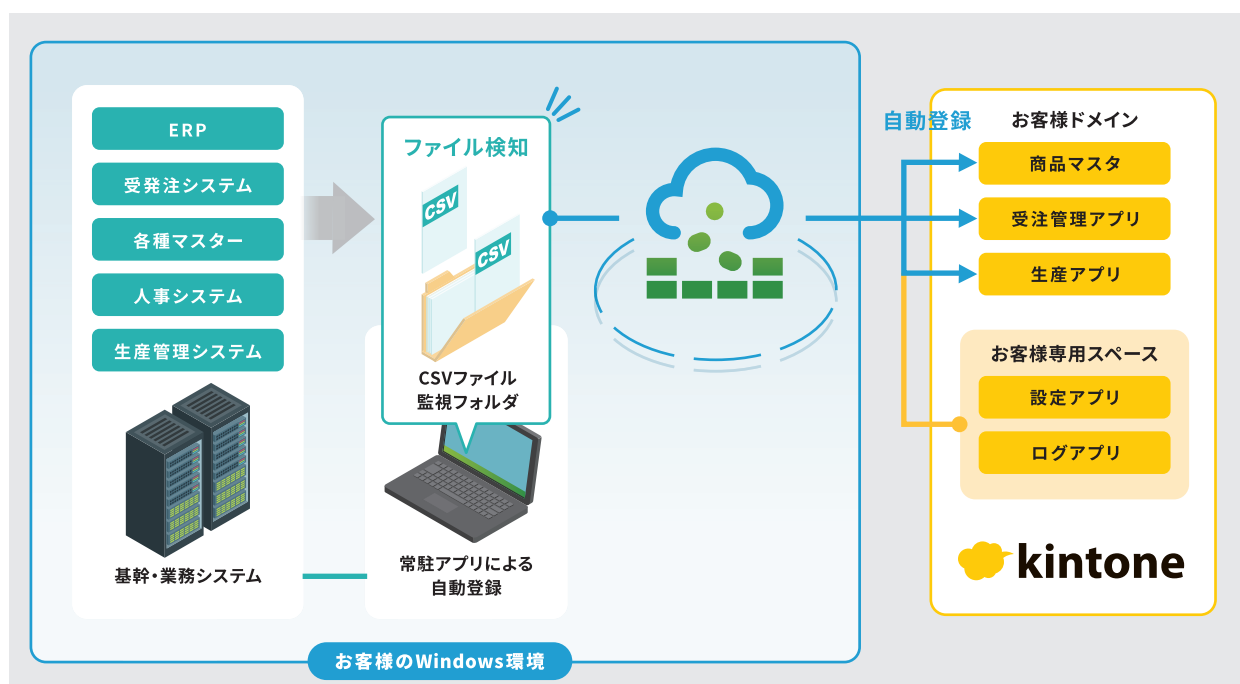
オンプレミス型連携サービス

オンプレミスの基幹システムや複合機をkintoneへ自動登録します。



基幹とkintoneを手軽に連携

DataSyncer® CSV to kintone



基幹システムから出力したCSVファイルをWindows上の所定のフォルダに置くだけで、自動的にkintoneへ登録します。

Windows OS上で常駐稼働する専用アプリがCSVファイルを検知し、即座にkintoneデータへの変換と登録処理を実行します。専用サーバーは不要で、業務用PCや共用サーバーでも運用が可能です。

活用例

- 基幹システムの商品マスターを同期
- 生産実績をポータルにリアルタイム表示
- EDI受注データをkintoneのワークフローへ

case 01

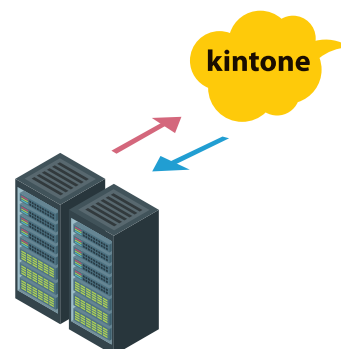
基幹システムとのマスター同期

～最新マスターを毎日自動で反映～

営業活動や顧客対応で使用するkintoneアプリのマスターデータは、常に正確で最新であることが求められます。

運輸業のA社では、基幹システムから毎朝出力される顧客マスター（CSVファイル）を担当者が手動でkintoneに取り込む運用を行っていました。しかし、更新漏れや入力ミスが発生しやすく、現場では「登録されていない」「情報が古い」といった混乱が慢性的に発生していました。

「CSV to kintone」を導入したことで、マスター整備の運用負荷を大幅に削減し、現場部門は常に最新情報をもとに対応できるようになりました。



case 02

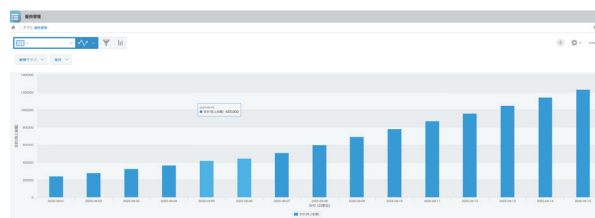
販売管理システムの実績データを全社で共有

～売上データの即時反映で現場判断を高速化～

製造業のN社では、販売管理システムから出力した売上実績データを、営業部門が週1回まとめて手作業でkintoneにアップロードしており、現場では「最新の数字が分からない」といった課題を抱えていました。

そこでデータシンカーの「CSV to kintone」を導入し、販売管理システムのCSV出力を毎朝自動で売上管理アプリに反映。ほぼリアルタイムで数値を社内共有できるようになりました。

これにより、営業担当者は出先からでも最新の実績を確認でき、マネージャーはタイムリーな判断や戦略の見直しが可能になりました。



case 03

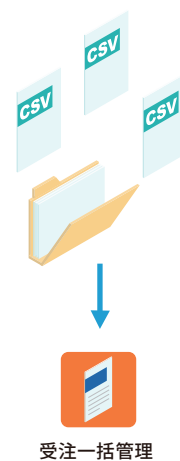
複数の受注ソースを一元管理

～異なるCSVフォーマットでもゼロタッチで連携～

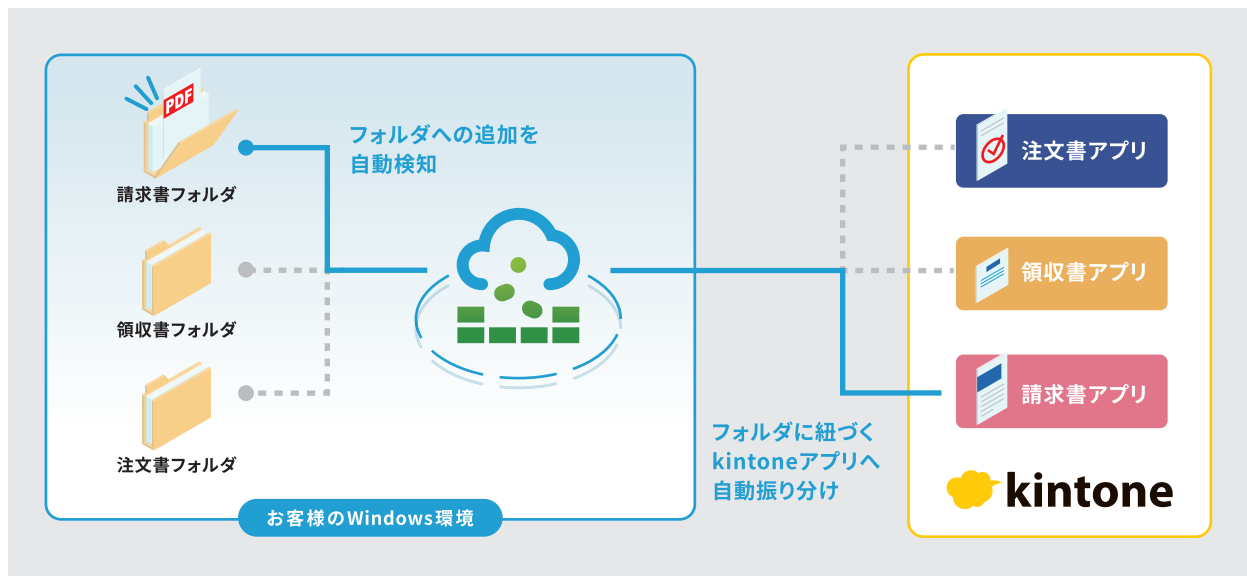
家電製造業のS社では、ECサイトやEDI、モールなど各チャネルから出力される注文データを、毎日CSVを手作業で整形しkintoneにアップロードしており、注文件数が多い日は処理が追いつかず、納期遅れやミスの原因になっていました。

「CSV to kintone」の導入後は、チャネルごとに異なるCSVレイアウトにも対応し、「ファイルを指定フォルダに置くだけ」で処理が完了。

これにより、受注業務の工数を大幅に削減し、業務効率が飛躍的に向上しました。



DataSyncer® PDF to kintone



複合機などからWindows上のフォルダにPDFファイルを保存すると、専用アプリが自動的に検知してアップロードします。
また、PDFファイル内の「請求書番号」や「請求日付」など、特定の文字列を自動で抽出し、アプリのフィールドに入力することも可能です。

活用例

- 複合機の受信FAX
- ERPから出力されるPDF帳票
- スキャンPDF

DataSyncer® PDF to kintone 活用事例

case 01

複合機FAXをkintoneに自動登録

～FAXでの受注処理をアプリ上で完結～

卸売業のA社では、FAXで届く注文書を毎回手作業でkintoneにアップロードしており、入力ミスや作業遅延が業務のボトルネックとなっていました。
「PDF to kintone」を導入したことで、複合機で受信したFAXを指定ルールに基づき自動でkintoneアプリへ登録できるようになり、FAX内容を即座に一覧・共有できる体制を実現。注文対応のスピードと正確性が大幅に向上しました。



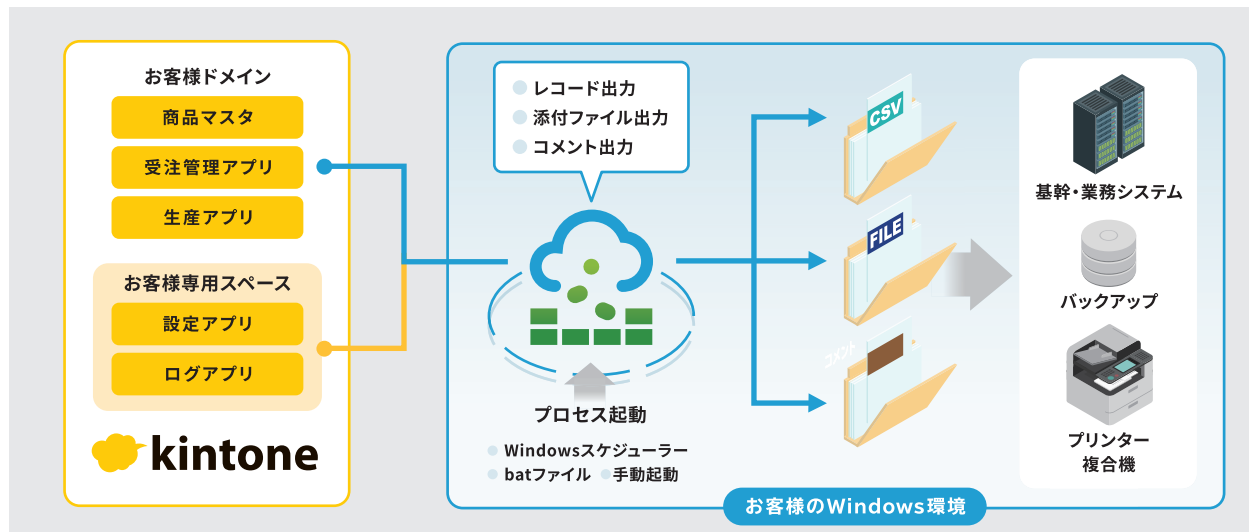
case 02

ERPの出力帳票をkintoneに自動登録

～PDFを置くだけ、後続処理も自動化～

部品製造業のB社では、ERPから出力される請求書や納品書PDFをファイルサーバーで保管していましたが、管理が煩雑で、作業負荷や入力ミスが課題となっていました。
「PDF to kintone」の導入後は、Windows上のフォルダにPDFを「置くだけ」でkintoneに自動アップロードされ、さらに帳票内のテキスト情報も各フィールドに自動登録できるようになりました。
これにより、ERPからの登録・通知・配信までを一気通貫で自動化。帳票管理の省力化と業務スピードの大幅な向上を実現しました。

DataSyncer® kintone エクスポート



Windows環境にファイル形式で出力することで、kintone上のデータと他システムとの柔軟な連携を実現します。

出力先のフォルダやファイル名は、連携先の仕様に合わせて柔軟に設定可能です。

各種設定やログの確認はすべてkintone上で完結し、シンプルな操作性と高度なセキュリティを両立します。

活用例

- レコードデータを基幹システムに連携
- 添付ファイルをNASへバックアップ
- アプリコメントの証跡保存

DataSyncer® kintone エクスポート 活用事例

case 01

kintone上のデータを基幹にインポート
～基幹システムに合わせたCSVを定期出力～

食品製造業のC社では、kintone上の受注データを定期的に基幹システムへ取り込むため、CSVの出力と整形作業を毎回手作業で行っていました。

「kintone エクスポート」を活用することで、あらかじめ基幹システム側のCSV仕様に合わせたファイルを、定期的に指定フォルダへ自動出力できるようになり、正確かつタイムリーなデータ連携を実現。

担当者の作業負担を大幅に軽減し、業務スピードの向上にもつながりました。

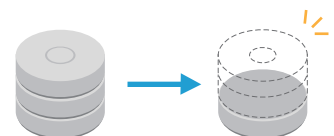
case 02

kintoneデータをNASに自動アーカイブ
～ディスク容量の制限を気にせず長期保存～

住宅製造業のD社では、kintone上に蓄積される法定保存帳票や画像ファイルの増加に伴い、kintoneのディスク容量制限が課題となっていました。

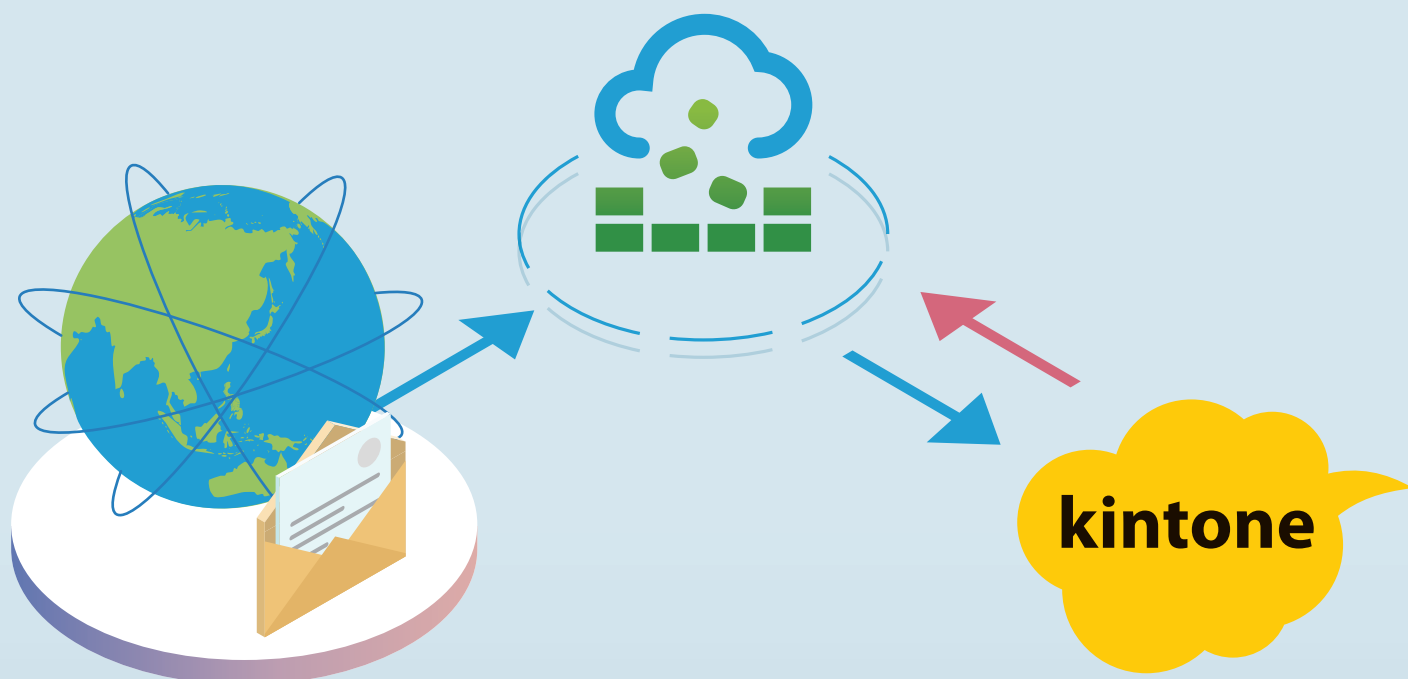
「kintone エクスポート」を導入することで、指定アプリのレコードや添付ファイルを定期的にダウンロードし、ファイル名や日付ごとに自動でフォルダ分けしてNASへ保存する仕組みを構築。

クラウドとローカルストレージを適切に使い分けることで、運用コストを抑えつつ、長期保管・法定保存にも対応できる環境を実現しました。



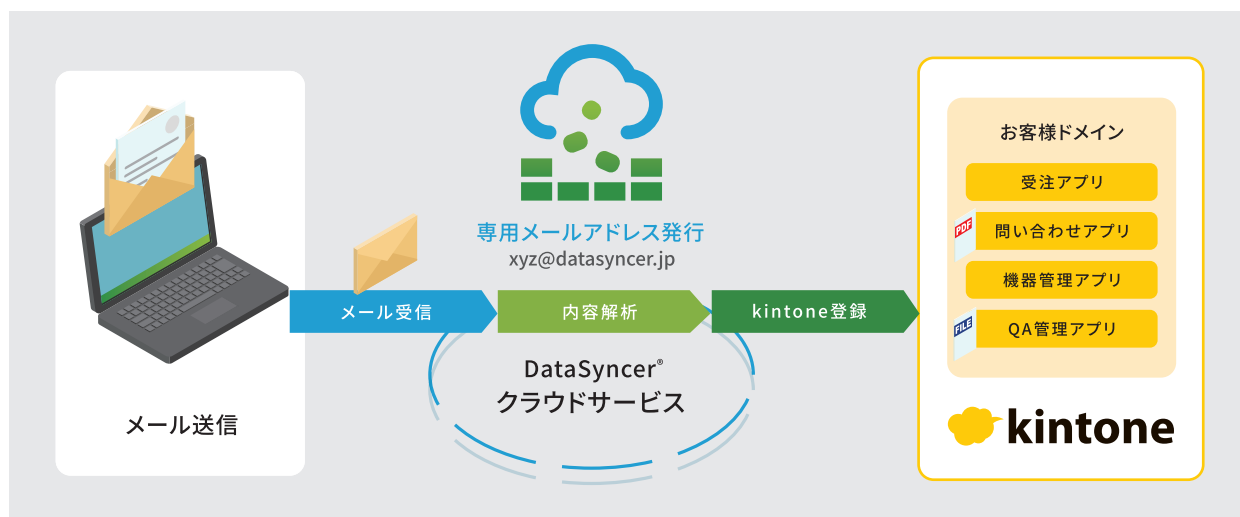
クラウド型連携サービス

すべての連携処理はクラウド上で。安定したデータ連携を実現します。



あらゆるメールをデータ登録

DataSyncer® メール to kintone



専用アドレスにメールを送信するだけで、kintoneアプリに直接メール情報を登録します。

すべての処理はクラウドサービス上で完結するため、PCでのメール受信は不要です。本文のほか、添付ファイル・件名・ヘッダー情報など、あらゆるタイプのメール情報をkintoneに登録できます。

活用例

- 商談・サポートメールをkintone上で共有
- 現場からの報告メールや添付写真をアプリへ登録
- アプリに蓄積したメール情報をAIで分析

case 01

商談メールをkintone上で共有

～メール本文内の「商談ID」を自動登録～

精密機械メーカーのI社では、日々の商談に関するやり取りをkintoneアプリで一元管理するため、「メール to kintone」を導入しました。

商談アプリ上の「商談ID」をメール本文に記載する運用を採用することで、受信メールから自動的に「商談ID」を抽出し、該当フィールドへ登録。

これにより、商談ごとのメール履歴を自動でひも付けて表示できるようになり、報告・共有の効率が大幅に向上しました。



case 02

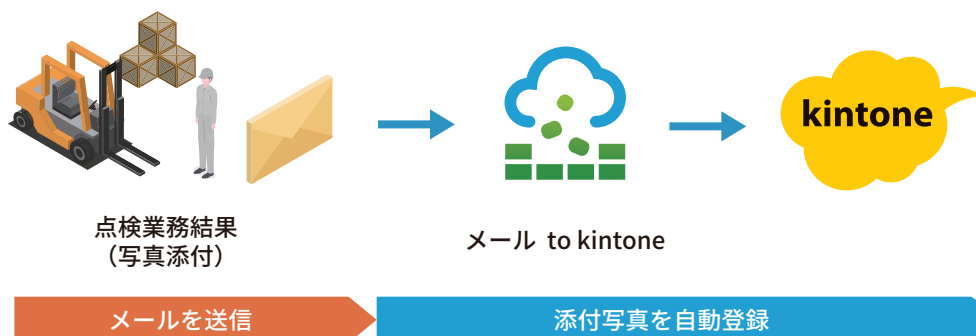
メールを出すだけで報告完了

～アプリ不要で現場写真なども自動登録～

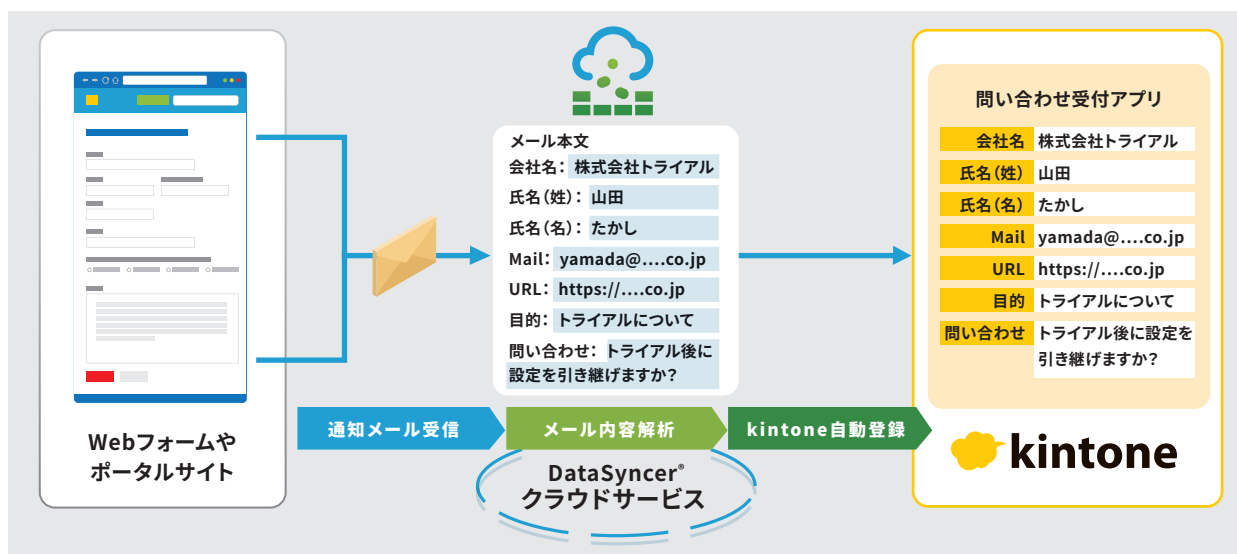
建設業のJ社では、点検サービス業務に「メール to kintone」を活用したシンプルな報告フローを採用しています。

作業現場からスマートフォンでメールを送信するだけで、本文・写真・PDFなどの添付ファイルが自動でkintoneアプリに登録され、現場と内勤の情報共有がスムーズに。

誰でも使える「メール」ならではの手軽さで、kintoneの操作を覚えることなく報告・共有が行える仕組みを実現しました。



DataSyncer® フォーム to kintone



お使いのフォームから送信される「通知メール」を、当社クラウドサービスの専用メールアドレスに送信するだけで、クラウド上で自動的に受信・解析し、指定のkintoneアプリに登録します。メール内の各項目は自動的に分解・抽出され、kintoneの各フィールドへ正確に対応づけて登録されます。

活用例

- 企業サイト問い合わせフォーム
- 不動産ポータルなどの反響管理
- EC受注情報をkintoneへ集約

DataSyncer® フォーム to kintone 活用事例

case 01

既存のWebフォームのままで連携

～フォームのデザインやURLの変更不要～

大手サービス業のE社では、自社サイトに設置された資料請求フォームのデザインやURLがブランドガイドラインによって厳格に管理されており、変更ができないという制約がありました。

そこで活用されたのが「フォーム to kintone」。既存フォームから送信される通知メールを解析し、自動でkintoneに登録することで、Webからの問い合わせ情報がリアルタイムに反映されるようになりました。その結果、対応漏れや転記ミスがゼロとなり、ブランドを守りながら業務改革を推進しています。

case 02

不動産や求人のポータルサイトとも連携

～APIがなくても通知メールで連携できる～

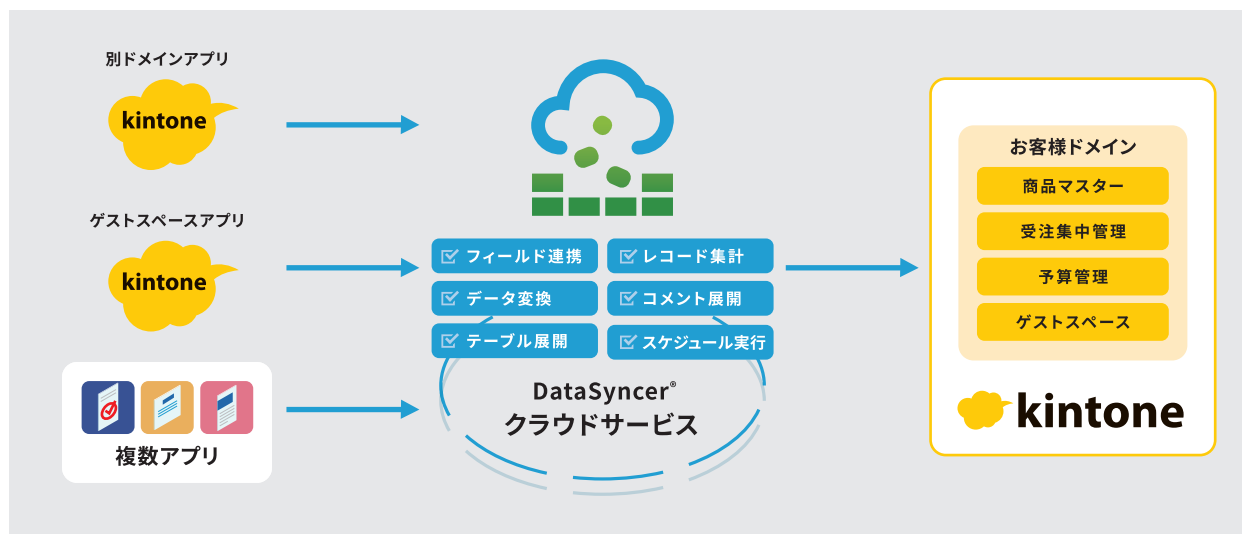
不動産仲介業を展開するF社では、複数のポータルサイトに掲載した自社物件の「反響通知メール」をもとに、営業担当が手作業でkintoneの反響管理アプリへ転記しており、対応漏れや入力ミスが課題となっていました。

データシンカーの「フォーム to kintone」を導入したことで、各ポータルから届く反響メールを自動解析し、必要な情報を正確にkintoneへ登録。ノーコードでの連携を実現しました。

これにより、対応スピードが大幅に向上し、複数の異なるメールフォーマットにも柔軟に対応できるようになりました。



DataSyncer® アプリ to kintone



異なるドメインやゲストスペースなど、あらゆるタイプのkintoneアプリ間連携に対応しています。

通常のレコードデータに加え、テーブルの展開、集計結果の連携、アプリコメントのレコード化にも対応。

実行タイミングも、定期実行・即時実行など柔軟に設定できます。

活用例

- 親会社との商品マスタ同期
- 予算と実績アプリから予実データを生成
- レコード化したコメントデータをAIで分析

DataSyncer® アプリ to kintone 活用事例

case 01

受注データを集約管理

～事業部ごとの受注情報を1アプリに集約～

専門部材を複数の事業部で展開する商社G社では、各事業部が独自の受注アプリを運用しており、全社的な受注状況の把握に手間がかかっていました。

そこでデータシンカーの「アプリ to kintone」を活用し、各事業部の受注アプリから共通の「全社受注アプリ」への自動集約を実現。

事業部ごとの運用を変えることなく、全体の見える化とデータ集約を可能にし、経営の視認性を大きく向上させました。



case 02

会社間のデータ共有を自動化

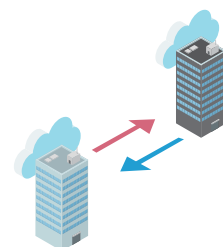
～別ドメインのkintone間でもレコード共有～

ソフト流通系商社のH社では、本社と子会社でkintoneドメインが分かれており、発注・納品に関するやり取りをCSVファイルのメール送信で行っていました。

そのため、手動転記や入力ミスが多く、進捗確認にも時間がかかる状況でした。

そこでデータシンカーの「アプリ to kintone」を導入し、本社の発注アプリから子会社の納品管理アプリへ、必要項目のみを自動転記。

異なるkintoneドメイン間でもデータがリアルタイムに同期されることで、業務連携の精度とスピードが大幅に向上しました。





DataSyncer® for kintone 価格表

サービス	初期費用	年間利用料	備考
CSV to kintone	100,000 円	120,000 円	同時監視フォルダ3個
PDF to kintone		120,000 円	同時監視フォルダ1個
kintone エクスポート		120,000 円	出力設定5個
フォーム to kintone		120,000 円	1フォーム
アプリ to kintone		180,000 円	連携設定3個
メール to kintone		120,000 円	1メールアドレス

※ 詳細はホームページをご覧ください。 <https://datasyncer.craftex.jp>

※ 初期費用は、データシンカーシリーズ共通で初回1度のみ必要です。

すべての機能をお試しいただけます

15日間無料トライアルのご案内

手軽に効果を実感！15日間のスタンダードプラン

お使いのkintone環境でお試し可能

オンライン説明やチャットを利用したサポート体制

トライアルのお申し込み



<https://datasyncer.craftex.jp/trial>



クラフテクス株式会社



〒160-0023

東京都新宿区西新宿三丁目3番13号 西新宿水間ビル6階

<https://craftex.co.jp>



クラフテクス株式会社は、サイボウズ株式会社および RICOH kintone plusのオフィシャルパートナーです。